

ヒューマン・セキュリティを実現する 国際社会の建設に貢献

「ヒューマン・セキュリティ連携国際教育プログラム」を発足

東北大学大学院「ヒューマン・セキュリティ」 連携国際教育プログラム

冷戦時代の終焉以降、軍事を中心とする従来の「国家安全保障」に代わって、疫病、貧困、環境、紛争などによる「人間の安全」に対する脅威への取り組みを重視するヒューマン・セキュリティ（人間の安全保障）の概念が、新しい国際社会を理解する考え方として注目されるようになり、日本もこの考え方を国際協力の柱にしたいとの意向を表明している。とりわけ文化の多様性や経済の不均等発展を特徴とするアジアの国々では、貧困、災害、劣悪な環境衛生と栄養障害、社会不安などを背景に、多くの人々が生命と尊厳を脅かされる生活を余儀なくされている。また、HIV / AIDS や SARS のような国際感染症、環境汚染、食の汚染、さらにはテロ行為や麻薬取引などが国境を越えて人々の暮らしと安全を脅かしている。

21世紀の国際社会が直面するこれらインセキュリティの実態とくに個人や社会にたいする多様な脅威はきわめて複合的な要因によってもたらされており、問題解決に向けた取り組みには研究と実践の両面において、

従来の専門知の壁を越えた複合的な視点を持つリーダーと問題解決型の学際的な知を結合した新しい方法論が求められている。

東北大学の4つの大学院、農学研究科、医学系研究科、国際文化研究科、および環境科学研究科は、ヒューマン・セキュリティを実現する国際社会の建設に知的側面から貢献することを目標に、2005年4月（平成17年度）から、「ヒューマン・セキュリティ連携国際教育プログラム」を発足させる。

この連携国際教育プログラムでは、人間の生存と尊厳に対する脅威について、食糧・農業、健康、環境、地域社会等の諸問題の複合的構造を理解し、国内・国際社会において、政策や地域社会のリーダーとしてヒューマン・セキュリティの実現に貢献できる専門的職業人・研究者の育成を行う。対象者は、日本を含むアジア地域諸国の大学院学生および社会人である。この連携国際教育プログラムへの入学を希望する者は、工学、理学、医科学、農学、社会科学、人文科学の分野における十分な学力と能力を、また将来ヒューマン・セキュリティの分野でリーダーシップを発揮する可能性を備えていることが要求される。

環境、健康、食糧・農業、社会、 の4つの専門分野

東北大学の「ヒューマン・セキュリティ」連携国際教育プログラムは、取り扱う専門領域に応じて4つのプログラムから構成される。「ヒューマン・セキュリティと環境」、「ヒューマン・セキュリティと健康」、「ヒューマン・セキュリティと食糧・農業」、および「ヒューマン・セキュリティと社会」の4つのプログラムである。これらのプログラムは、それぞれ、医学系研究科、農学研究科、環境科学研究科、国際文化研究科が担当する。

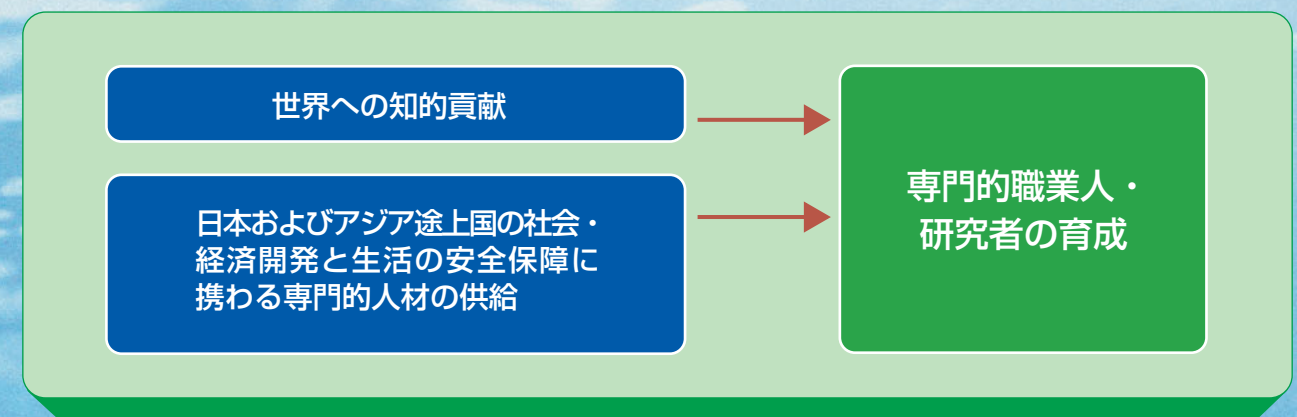
連携国際教育プログラムは、これらの4つの大学院研究科が連携し、組織横断的で学際的な教育・研究を実施する体制となっている。学生は、それぞれが研究するテーマに応じて4つのプログラムから一つを選択し、それを担当する研究科に入学する。授業は、4研究科がそれぞれの専門分野に関して提供する学際的な「共

通科目」とそれぞれのプログラムで実施する「基礎・専門科目」等から構成され、それぞれ英語で実施される。学生は、所定の科目を履修し学位論文に合格すると、各プログラムに対応した学位を、入学した研究科から授与される。外国人留学生は英語ですべての授業を履修し、英語で学位論文を提出できる。入学に際して日本語の能力を問うことはない。

履修内容

ヒューマン・セキュリティ連携国際教育プログラムの授業科目は、共通科目、基礎・専門科目、論文作成指導（演習・特別指導）、特別履修科目等の4種類から構成される。「共通科目」は、このプログラムでの履修の中核をなし、4つのプログラム（専門分野）が合同で実施する授業である。「基礎・専門科目」は、各分野の専門知識に関する授業で、所属するプログラム（大学院研究科）で履修する。

| | 基礎・専門科目 | 共通授業（英語） | 論文作成指導 | 修士学位 | 博士学位 |
|------|---------|--|---------|---------|---------|
| 環境 | 環境科学系 | 共通科目 4研究科 × 2科目 特別講義 内外実務者・ 研究者による | 演習・特別指導 | 環境科学/学術 | 環境科学/学術 |
| 健康 | 医学保健系 | | 演習・特別指導 | 医科学 | |
| 食料農業 | 農学系 | | 演習・特別指導 | 農学 | 農学 |
| 社会 | 国際文科系 | | 演習・特別指導 | 国際文化/学術 | 国際文化/学術 |



ヒューマン・セキュリティと環境

人間の様々な活動や自然作用によってもたらされる水資源、森林、土壌、大気、気候、生態系などの変化が諸個人と社会の生存と存続に与える影響とその解決策についての研究と教育。

ヒューマン・セキュリティと健康

健康と生命を脅かす、感染症等の疾病、公害、災害、医療事故等の可避死事象 (Preventable death events) の実態およびその背景にある社会システム要因の解明・改善に関する研究と教育。

ヒューマン・セキュリティと食糧・農業

食糧の食料安全保障、経済発展と食の多様化、食糧の質（栄養）、バイオ資源管理とナショナリズム、など諸個人の食糧の安全保障についての研究と教育。

ヒューマン・セキュリティと社会

人権問題、ジェンダー、紛争、難民など日常生活レベルの諸問題に焦点を当て、ここからコミュニティ・国家レベルへと人間を取り巻く社会環境が変化中での人間の安全保障についての研究と教育。

「ヒューマン・セキュリティ」 連携国際教育プログラム